

形成外科

文責:大山 拓人

概要

2020年度は大山拓人(形成外科専門医・指導医)1人体制での運営であった。
非常勤医師として2021年1月まで杉尾勇太医師(形成外科専門医)にサポートを頂いた。

診療

形成外科一般(外傷・創傷治癒/腫瘍・再建外科/先天異常)の診療を行っている。
腫瘍、眼瞼下垂症、先天異常、足病変、慢性難治性潰瘍など老若男女問わず、全身に多岐にわたる症例が多い。自費診療治療は基本的に行っていない。
機会に恵まれ他科との合同手術も増加傾向にある。

手術

手術件数は別表のとおりである。

学会

学会、研究会、講演会での発表も積極的に行っている。

その他

2019年4月より当院形成外科開設者の佐藤史郎医師より引き継がせて頂き運営を行っている。現時点では一人体制での運営ではあるが、幸いにも他科医師や看護師をはじめとする様々な医療スタッフに多大な協力を頂きながら運営することができており大変感謝している。

今後も一例一例を大切に対応させて頂きながら質の高い診療を行う所存である。

手術内容区分

	入院	外来	計
全身麻酔での手技数	135		135
腰麻・伝達麻酔での手技数	17	11	28
局所麻酔・その他での手技数	124	129	253
入院または全身麻酔の手技数計:276			
外来での腰麻・伝達麻酔、局麻・その他の手技数計:140			
合計係数:346			

※件数の条件

- ・入院手術または全身麻酔手術の手技数の合計が認定施設150以上、教育関連施設80以上であること
- ・「入院手術または全身麻酔手術1例の係数1.0」、「外来での腰麻・伝達麻酔、局麻・その他1例を係数0.5」とした場合の合計係数が認定施設200以上、教育関連施設130以上であること

(件)

疾患大分類手技数	入院			外来			合計
	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	
外傷	13		5			3	21
先天異常	23		2			3	28
腫瘍	49		18		8	91	166
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	7	2				6	15
難治性潰瘍	41	14	12				67
炎症・変性疾患	2		7		3	5	17
美容(手術)							
その他		1	80			21	102
Extra レーザー治療							